

委員会行政視察報告書

委員会名	空港等まちづくり対策特別委員会
出席委員等	中尾広城 委員長、谷 展和 副委員長、古谷公俊 委員、岡田好子 委員、成田政彦 委員、松本雪美 委員、南 良徳 委員、木下豊和 議長 【随員】真鍋康之、岡田直樹（総合政策部）藤原秀紀、塩谷周平（議会事務局）
実施年月日	平成27年7月22日（水）
視察先	泉南市商工会、阪和ホーロー株式会社
視察項目	●意見交換会 泉南市商工会「泉南市商工会の取り組みと関西国際空港とまちづくりについて」 阪和ホーロー(株)「りんくうタウン進出企業の現状とまちづくりについて」
視 察 内 容	
<p>●泉南市商工会</p> <p>最初に、泉南市商工会 原田会長より挨拶を受け、中尾委員長の進行により意見交換会を実施。以下、各委員の主な質疑応答の内容です。</p> <p>最初に、小規模企業振興基本法の施行に対して、どのように取り組んでいくのか、との問いに、今後、様々な施策や事業が打ち出されると思うが、各事業所がこれらをフルに活用して事業を発展させていくための支援をしていくとのことでした。</p> <p>次に、泉南市における住宅リフォーム助成制度の実施要望はされないのか、との問いに、商工会として要望することが適当であれば要望するとのことでした。</p> <p>次に、内陸部の活性化について、どのように取り組んでいくのか、との問いに、窓口相談、巡回訪問を通して各事業所の課題を抽出し、解決に向けて的確な支援を行っていくことが、結果として活性化につながると考える。また、商工会では、事業所の交流の場として、「泉南異業種交流会」を実施しているとのことでした。</p> <p>次に、りんくう南浜公園整備についての商工会の考えは、との問いに、泉南市への来街者を増やすためには、りんくう南浜公園整備が必要であり、結果として雇用創出にもつながるため、多方面から協力していくとのことでした。</p> <p>次に、LCC客を含め、関西国際空港インバウンド客の誘致についての考え方と観光産業への取り組みは、との問いに、近年、アジアを中心に観光客が急増しており、泉南市においても誘致する施策が必要であると考え。また、商工会では、産業観光として、工場見学を実施しているとのことでした。</p> <p>次に、プレミアム商品券の取り扱い加盟店の登録数は、との問いに、平成27年7月14日現在で204事業所（イオンを除く）であるとのことでした。</p> <p>次に、マスコットキャラクター「せんなん熊寺郎」や「花えみせんなん」のロゴマークの旗を記念日等に一齐につけることはできないのか、との問いに、協力はしていくとのことでした。</p>	

次に、りんくうタウンに進出された意義と背景は何か、との問いに、情報発信基地としての機能を最大限に発揮するのに、りんくうタウンは好立地であり、40年近く樽井区民センターに間借りという形で活動していたので、商工会館が建設できたことは悲願であったとのことでした。

次に、商工会のイメージする国家戦略「地方創生」とは何か、との問いに、市内の小規模事業者の賑わいが地方創生に繋がると考えるとのことでした。

次に、買い物難民対策について、商工会の考え方は、との問いに、これまで「まごころしょうたの会」による宅配事業の実施や「まごころしょうたくん」によるインターネット上で注文・宅配が利用できるなどの取り組みを行ったが、十分な成果はなかったため、現在は各個店での対応になるとのことでした。

次に、市内中学生の職業体験及び社会見学の受け入れ態勢は、との問いに、すでに、地域活性化事業として、一般市民を対象に工場見学を実施している。また、各事業所で市内中学生の職業体験及び社会見学の受け入れを実施しているところもあるとのことでした。

次に、府立支援学校等の障害のある子どもの体験受け入れや就労斡旋は可能なのか、との問いに、いずれも各事業所の対応になるとのことでした。

以上が、泉南市商工会における視察の概要となります。

●阪和ホーロー株式会社

最初に、阪和ホーロー株式会社 高野代表取締役より挨拶を受け、中尾委員長の進行により意見交換会を実施。

以下、各委員の主な質疑応答の内容です。

最初に、りんくうタウンに進出された意義と背景は何か、との問いに、以前は新家小学校の隣接地に本社があったが、有害物質を取り扱うことから、環境に配慮するためにはその処理に多大なランニングコストがかかること、また、大型車の出入りが不便であることから、立地条件の良いりんくうタウンに本社を移設し、環境配慮型生産ラインの確立を目指したとのことでした。

次に、阪和ホーロー株式会社と本市行政の関わりについて、どのように考えるか、との問いに、公害問題など様々なことに対して、協力いただいているので、今後も引き続きお願いしたいとのことでした。

次に、市内中学生の職業体験及び社会見学の受け入れ態勢は、との問いに、現在、商工会を通じて一般市民の受け入れを実施しているが、工場見学となると、受け入れ態勢が十分に整っていないため、近い将来、工場見学もできるよう努めていきたいとのことでした。

次に、府立支援学校等の障害のある子どもの体験受け入れや就労斡旋は可能なのか、との問いに、現在、佐野支援学校の生徒が1名勤務しているが、支援学校の先生の協力が必要不可欠であり、様々なアドバイスをもらっているため、体験受け入れや就労斡旋については今後の検討課題であるとのことでした。

次に、本市に要望したいことはあるか、との問いに、樽井駅の改札口が反対側しかなく、バス停もないので、交通整備に積極的に取り組んでいただきたいとのことでした。

次に、関西国際空港において、阪和ホールー株式会社の商品が販売されているが、もう少し手軽なお土産としての商品販売はできないのか、との問いに、手頃な価格で販売している商品もあるが、発信力を高めるために、今後さらなる商品の充実に向けていくとのことでした。

次に、雇用形態の現状は、との問いに、正社員が約 80 名で、派遣社員は数名である。また、社員の住まいは泉南市、阪南市、泉佐野市、和歌山市、岩出市と各方面にわたっているとのことでした。

以上が、阪和ホールー株式会社における視察の概要となります。

■総 括

視察については、時間的配分の厳しい日程の中、実施しましたが、委員から活発な質疑が行われ、また、相手方からも市に対する要望や意見などを述べられ、全体的に充実した意見交換会となりました。

また、このような意見交換会を今回だけに限らず、今後も継続的に実施し、行政だけでなく、議会としてもまちづくりの向上・発展につなげていきたいと考えております。

上記のとおり報告いたします。

平成27年8月12日
空港等まちづくり対策特別委員会
委員長 中尾 広城

●泉南市商工会



中尾委員長より挨拶



原田会長より挨拶



谷副委員長よりお礼の挨拶



意見交換会終了後、集合写真

●阪和ホールディングス株式会社



中尾委員長より挨拶



会議風景



谷副委員長よりお礼の挨拶



意見交換会終了後、集合写真